

課題番号1

基本方針: I	課題名: 県産イチジクの地域ブランド力の向上	
対象: 西方無花果出荷組合 イチジク生産者・出荷組合	計画期間: H29~31	
	事務所名: 北部農林振興事務所	
普及指導事項	活動内容	活動成果
①首都圏出荷体制の定着	目揃え会や反省会への参画 無加温ハウスの提案・相談 市場調査・視察	配送料補助ありで出荷量1.41t →補助なしで出荷量1.43t 無加温ハウス 0棟 → 2棟
②県内におけるイチジクのPR	関係機関との調整 飲食店等への試作依頼 加工品のPR活動支援	飲食店へのサンプル提供 0店舗→3店舗

総合評価(コメント)
<p>A: 6名</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 県内でも一層のPRをお願いします。・ジュースなどの加工・利用は難しいでしょうか？ ■ 引き続き首都圏の出荷量を増やして生産者の所得向上に期待します。 ■ 産地の殻を破っていく意欲的な課題で設定であることから、関係機関や団体との連携で粘り強く取り組んでほしい。 ■ 首都圏市場の相手にするために、出荷量の増加は重要な点である。見た目が地味なイチジクをもっとPRして下さい。 ■ 県内イチジクとイチジク加工品のさらなるPRを図るために、生産量を増やし、新たな販売先の拡大を期待する。 ■ 県産イチジクの認知度をより高めるための取り組みを継続してほしい。

普及指導計画への反映状況等
<ul style="list-style-type: none"> ■ 果実品質の高位平準化、出荷量の増加、早期出荷による取引単価の向上を目指して、引き続き関係機関や出荷組合と連携して取り組みます。 ■ PRの取り組みについても、関係機関と連携して継続し、より幅広い実需者に向けて取り組みます。